

高大連携 探究成果発表会報告

3月8日（土）午後名古屋市長大学で「高大連携探究成果発表会」が行われ、本校からは2年生1グループ、1年生1グループの計2グループが出場し、「総合的な探究の時間」で学んだことを発表しました。

2年生は、広島修学旅行で「大久野島」を訪問したことを報告しました。大久野島は、戦争中、「地図から消された島」として知られ、それはいったいなぜなのかを探究したものです。実際に訪れ、被害とともに加害の歴史を学ぶことの重要性を発表しました。

1年生は、「探究の時間」につくったグループで「育休制度を改めよう」とテーマ設定しましたが、調べていくうちに日本の育休制度は思いのほか充実していることを知り、「育休制度を普及させよう」とテーマを改め、「育休アプリ」を構想する発表を行いました。

発表した各学年の代表チームの生徒たちは、名市大の「さくら講堂」という大きな会場で発表できたことで自信にもつながりましたし、他校の生徒たちの素晴らしい発表を聞いて刺激を受けました。また、休憩時間に行われたポスターセッションでは、名市大の先生や他校の生徒・教員に声をかけてもらい、大きな励みになりました。

発表する仲間を応援に来た名東生の姿も見られましたし、また名東高校の教員も数多く会場に足を運んでくれました。本当にありがとうございました。



ポスターセッションの準備中



発表のリハーサル中



2年生が発表しています



1年生が発表しています



名市大の先生からコメントをいただきました



他校の生徒から質問を受け応えています



1年生の代表チーム



2年生の代表チーム



最後は発表者みんなで記念撮影